



高品質豚肉生産のためのエコフィードの利用効果を解明

— 食品残さの利用促進を支援 —

開発の背景・ニーズ

食品リサイクル法の施行により、食品残さの有効利用が求められています。家畜用飼料として食品残さ（エコフィード）の利用を促進するためには、家畜の生産性や肉質への影響を明らかにすることが課題となります。そこで、馬鈴薯由来のエコフィードを肉豚に給与し、その利用効果の解明に取り組みました。

成果の内容

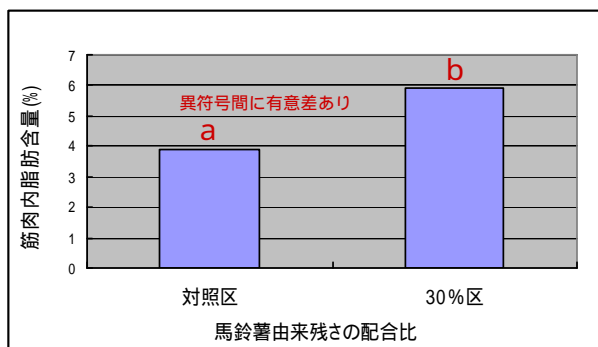
エコフィードとして、馬鈴薯由来残さ（生馬鈴薯7：ポテトチップス1：コーンスターチ2）を混合し、火力乾燥させたものを用いました。一般の配合飼料にエコフィードを30%添加した飼料を給与したところ、配合飼料のみの対照区と同等の生産性が得られることが明らかとなりました。また、その肉質は、筋肉内脂肪含量（サシ）が増加すること、軟脂と呼ばれる脂肪の質の低い豚が発生しないこと、食味性に優れることが明らかになり、配合飼料のみを給与する場合よりも、高品質な豚肉が生産できることがわかりました。



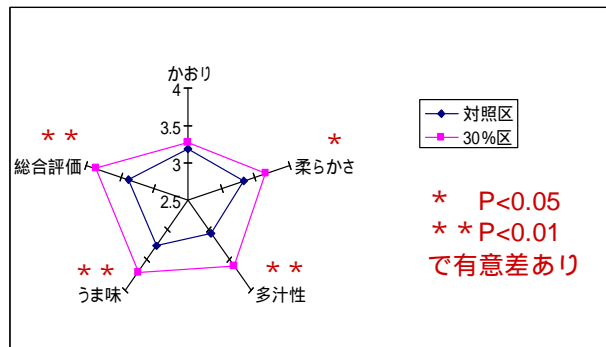
馬鈴薯由来残さ



摂食中の肉豚



ロース肉中の筋肉内脂肪含量



食味官能検査の結果

愛知県農業への貢献

エコフィードを利用する際の技術的な指針として活用することにより、県内のエコフィード利用をさらに促進することができます。